

令和3年度青森県産品ベンチマーク調査結果について

1 調査の主旨

県では、消費者から見た県産品のイメージや、県産品の認知度、消費者の意識・行動などを明らかにするため、平成16年度から青森県産品ベンチマーク調査を実施しています。

調査結果については、総合販売戦略の更なる推進を図るため、認知度向上に向けた取組の展開に活用するほか、県産品販売に係る今後の施策立案にも活用することとしています。

2 調査結果の概要

今回の調査の結果、県産品に対するイメージは、「安心して食べられる」、「味がよい」、「品質が良い」などが上位を占め、「青森県総合販売戦略」に掲げている「高品質」、「安全・安心」、「正直・まじめ」な県産品ブランドのイメージと一致しており、これまでの成果が現れているものと考えられます。

一方、認知度の低い県産品や地域食材も多く、引き続き、認知度向上に、取り組んでいく必要があります。

(1) 県産品に対するイメージは、「安心して食べられる」と「味がよい」の割合が最も高く、71.9%となりました。

「安心して食べられる」、「味がよい」、「品質が良い」、「新鮮である」、「素朴である」の5項目が県産品のイメージとして高い割合を占め、中でも「安心して食べられる」は昨年度に引き続き、最も高い割合となり、「安心」のイメージが継続しています。

また、今回の調査では、「ブランド品がある」、「個性的である（特色がある）」、「デザイン・センスが良い」、「PRされている」の項目が調査開始以降で最も高い割合となりました。

食の安全に対する信頼、味や品質の他、県産品のブランドや個性が認知されるとともに、デザインに対する評価の向上が見られます。

(2) 認知度は、37品目中、「さくらんぼ」、「卵」、「メロン」など23品目で上昇しました。

品目別の認知度は、「りんご」が94.3%と最も高く、次いで「りんごジュース等のりんご加工品」、「にんにく」、「南部せんべい」の順となりました。調査した37品目中23品目が昨年度に比べて上昇しており、「さくらんぼ」が3.4ポイント、「卵」が3.0ポイント、「メロン」が2.6ポイント上昇しました。

(3) 地域食材の認知度は、32品目中、「倉石牛」、「深浦まぐろ」など20品目で上昇しました。

地域食材の認知度は、「大間まぐろ」が74.3%と最も高く、次いで「青天の霹靂」、「たっこにんにく」、「陸奥湾ほたて」の順になりました。調査した32品目中20品目が昨年度に比べて上昇しており、「倉石牛」が1.9ポイント、「深浦まぐろ」が1.5ポイント、「小川原湖産大和しじみ」が1.4ポイント、「奥入瀬ガーリックポーク」が1.3ポイント、「一球入魂かぼちゃ」が1.1ポイント、「青い森紅サーモン」が1.0ポイント上昇しました。

(4) 購入してみたい地域食材は「大間まぐろ」と「青天の霹靂」。

購入してみたい地域食材は、「大間まぐろ」が47.1%と最も高く、次いで「青天の霹靂」、「陸奥湾ほたて」、「海峡サーモン」の順になりました。昨年度に比べて、「奥入瀬ガーリックポーク」が2.4ポイント、「たっこにんにく」と「ジュノハート」が1.0ポイント、「青い森紅サーモン」が0.9ポイント上昇しました。

令和3年度青森県産品ベンチマーク調査結果

青森県農林水産部総合販売戦略課

1 調査方法等

- 1 調査方法 WEBアンケート調査
- 2 調査時期 令和4年2月（前回：令和3年1月）
- 3 調査規模 県外の消費者1,000名
（青森県を除く東北、関東、関西、九州 各250名）
- 4 調査対象
 - （1）性別・年齢 20歳代以上の既婚女性
 - （2）対象条件 小売店で週1回以上買い物をする人
- 5 調査内容
 - （1）県産品に関する調査（平成16年度からの継続調査）
 - ア 県産品に対するイメージ
 - イ 県産品（37品目）の認知度
 - ウ 青森県アンテナショップの認知度
 - エ 普段食品を購入する際の重視点
 - （2）地域食材に関する調査（平成24年度からの継続調査）
 - ア 地域食材（32品目）の認知度
 - イ 国内のブランド食材と青森県の地域食材との比較
 - ウ 地域食材の購入動機※（1）、（2）とも平成22、23、27年度は未調査。
- 6 回答者の年齢構成

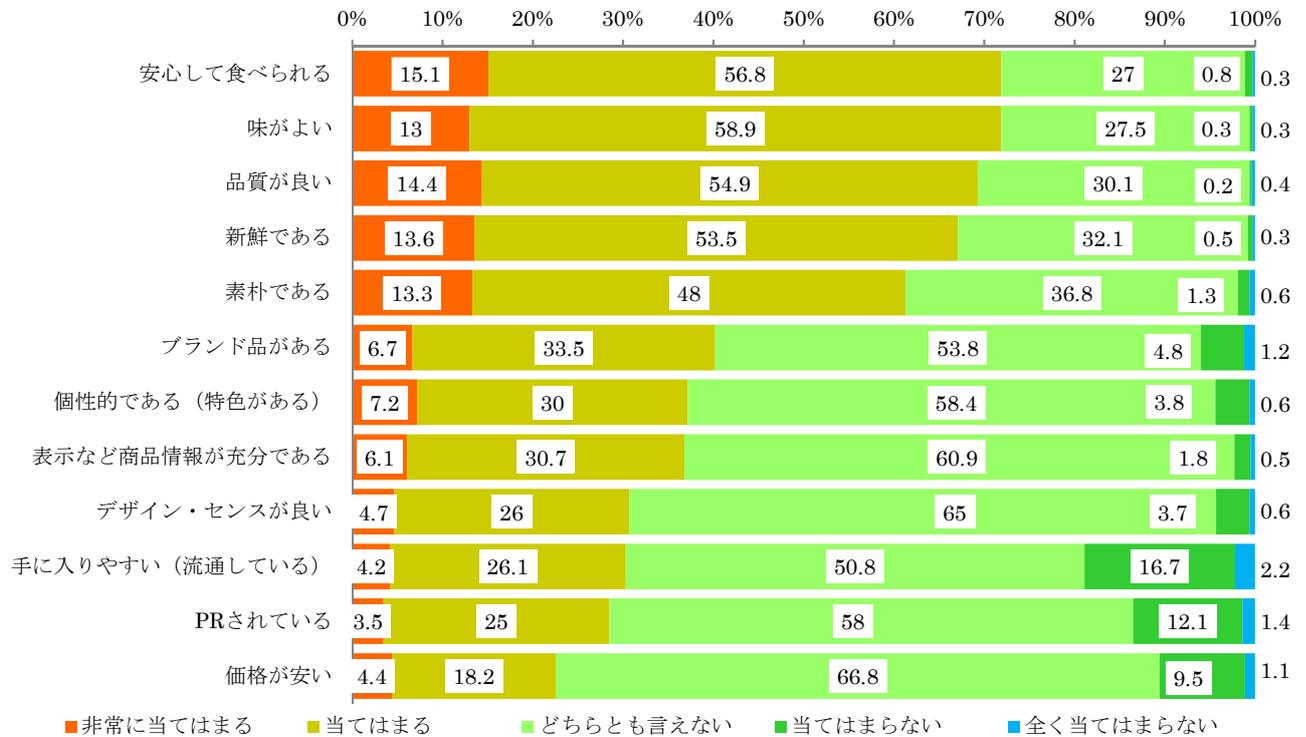
20代	30代	40代	50代	60代以上
4.3%	16.7%	32.3%	28.0%	18.7%

2 調査結果

(1) 県産品に関する調査

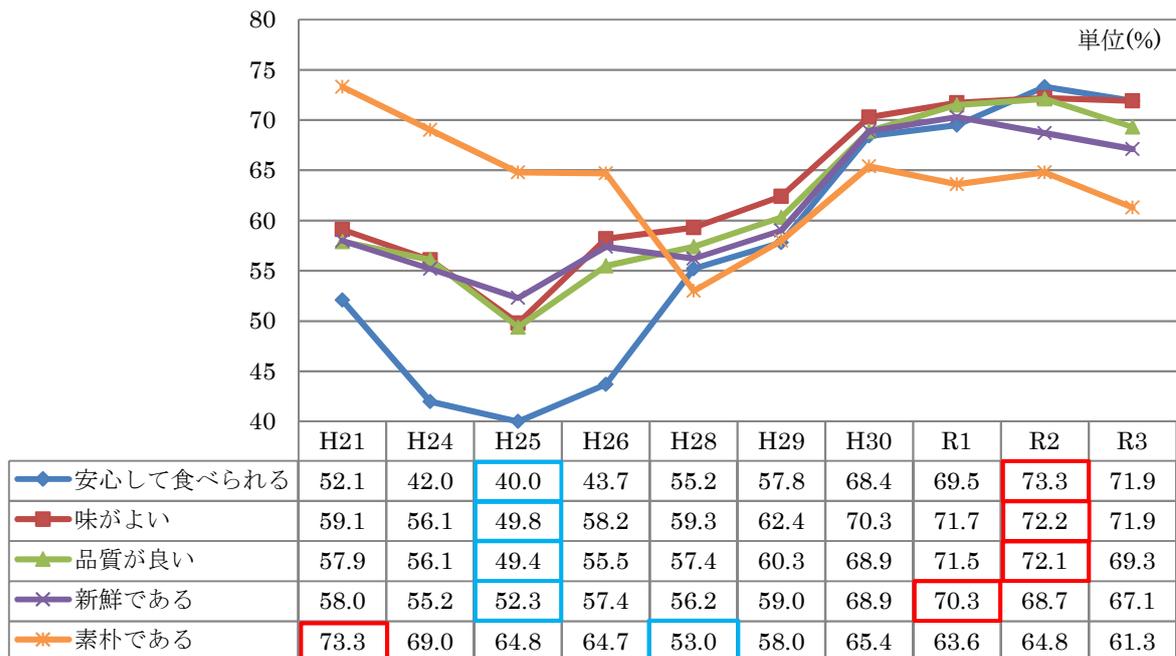
ア 県産品に対するイメージ（複数回答）

「非常に当てはまる」と「当てはまる」の合計値は、「安心して食べられる」と「味がよい」が71.9%と最も多く、続いて「品質が良い」(69.3%)、「新鮮である」(67.1%)、「素朴である」(61.3%)の順となっている。



<参考> 年次推移

① 上位5項目

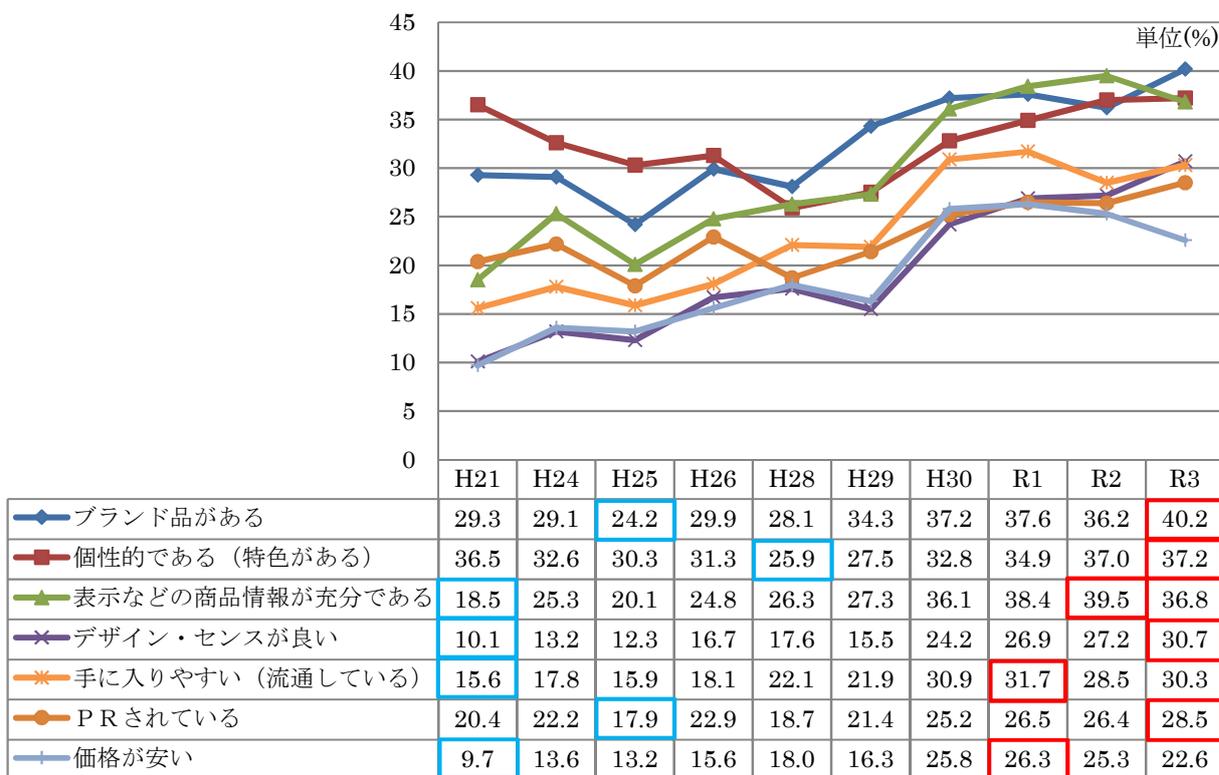


注) H21以降の各項目の最大値は赤枠で、最小値は青枠で表示。

「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計値。

②その他7項目

「ブランド品がある」、「個性的である（特色がある）」、「デザイン・センスが良い」、「PRされている」は、調査開始以降で最も高い割合となった。



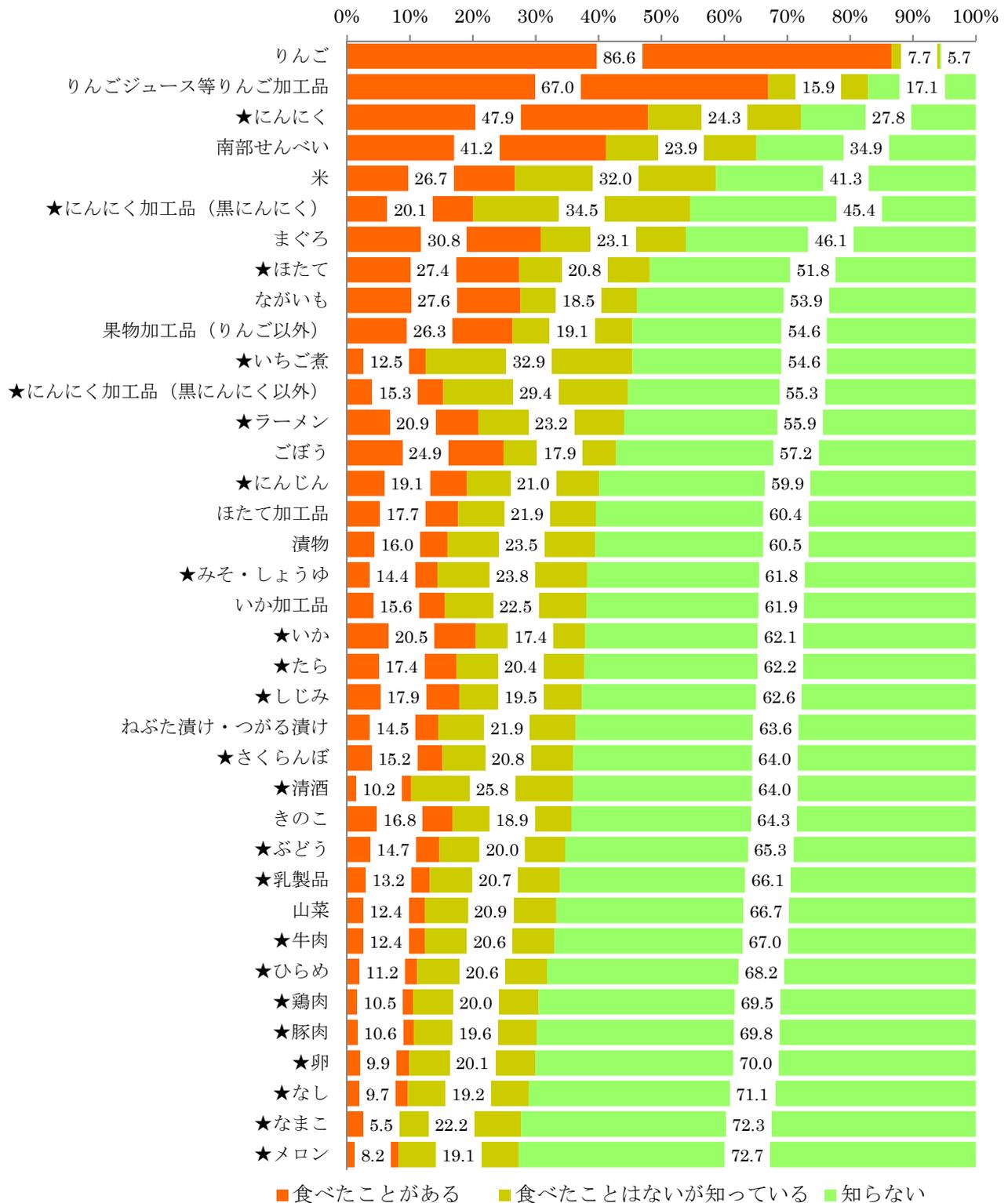
注) H21以降の各項目の最大値は赤枠で、最小値は青枠で表示。

「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計値。

イ 県産品の認知度

「食べたことがある」と「食べたことはないが知っている」の合計値を認知度とした。

「りんご」(94.3%)及び「りんごジュース等りんご加工品」(82.9%)が8割を超え、次いで「にんにく」(72.2%)、「南部せんべい」(65.1%)、「米」(58.7%)の順となっている。昨年度と比較し、認知度が上昇している品目は、「さくらんぼ」、「卵」、「メロン」など23品目である。

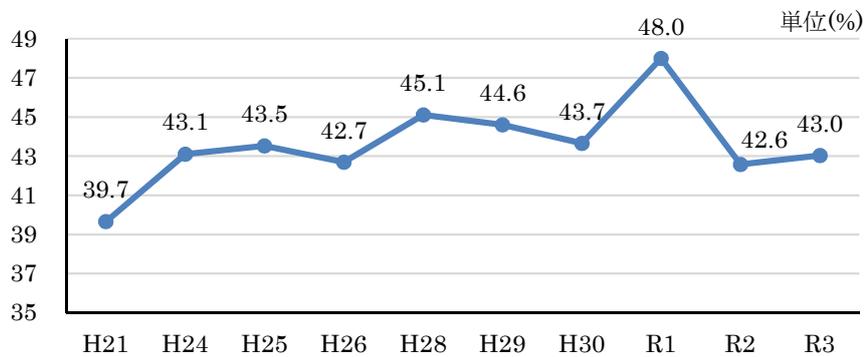


注) ★印が付いている品目は前年度から上昇した品目

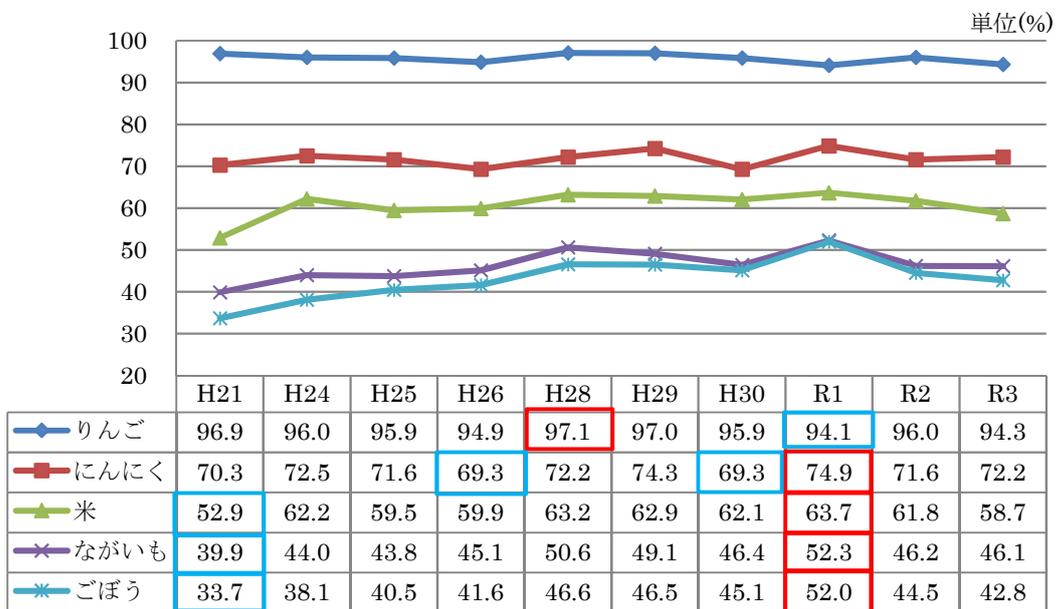
<参考>品目別認知度の年次推移

注)「食べたことがある」と「食べたことはないが知っている」の合計値を認知度とした。

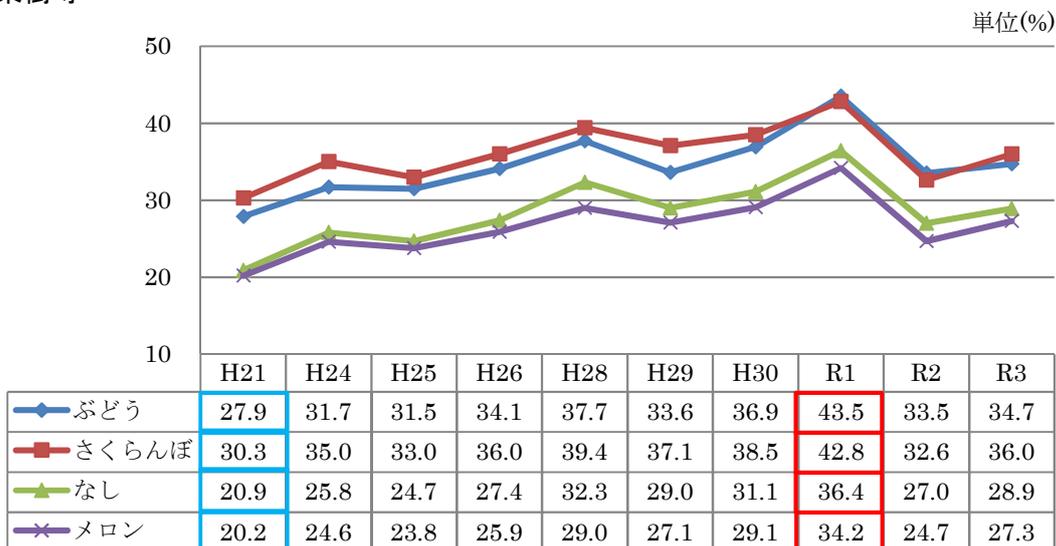
①全品目の平均値



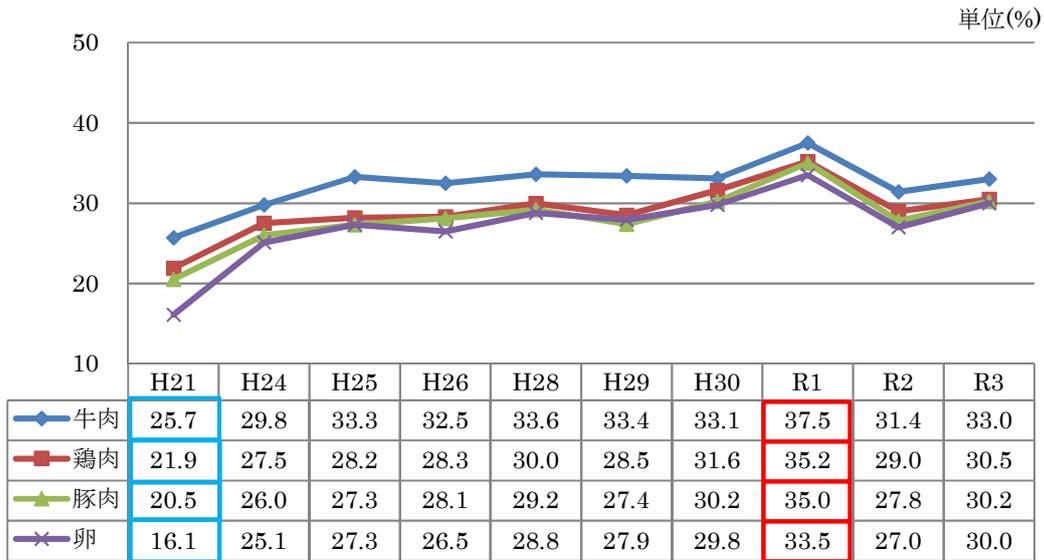
②主要農産物 注) ②～⑦の表中、H21以降の各項目の最大値は赤枠で、最小値は青枠で表示。



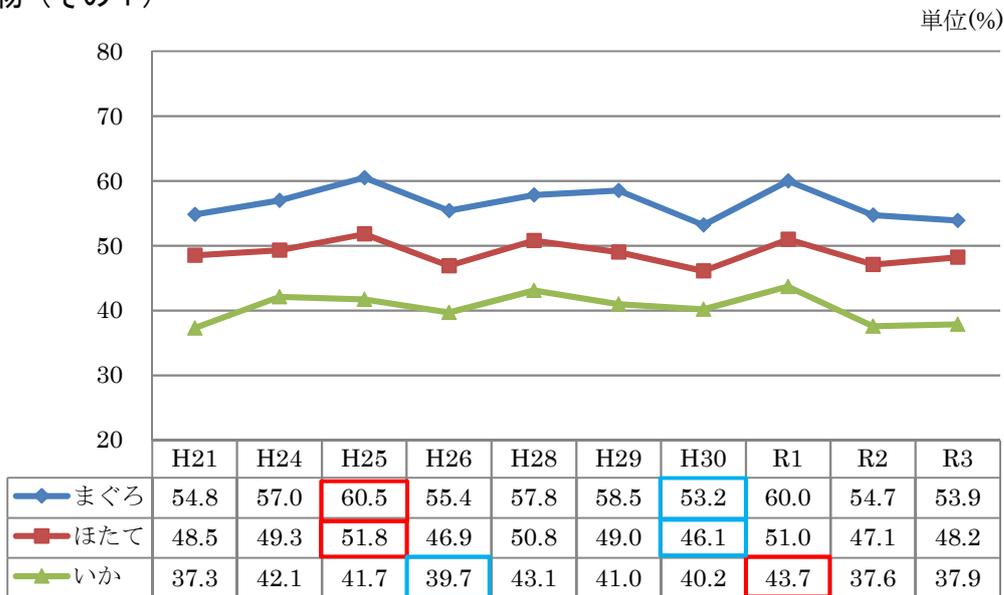
③特産果樹等



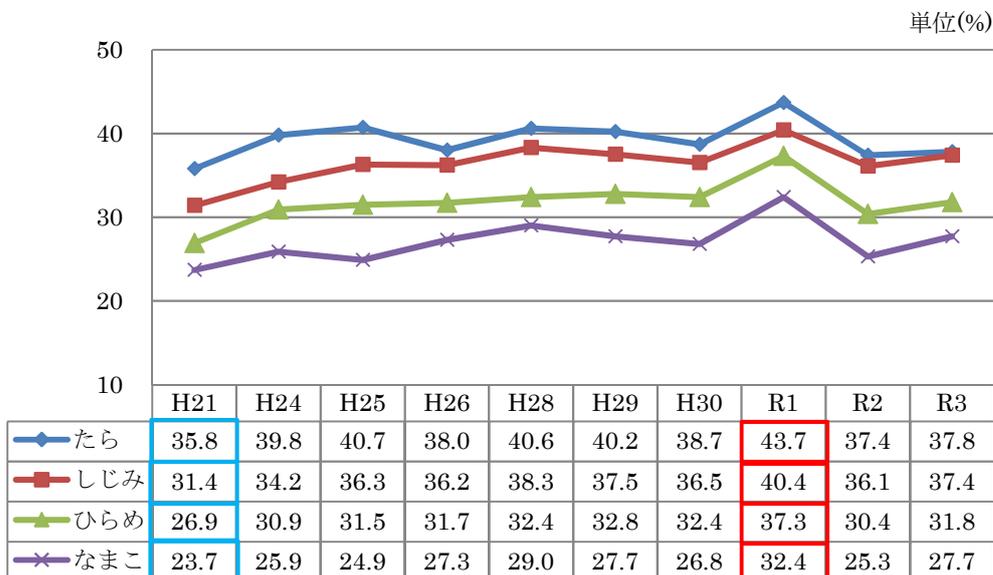
④畜産物



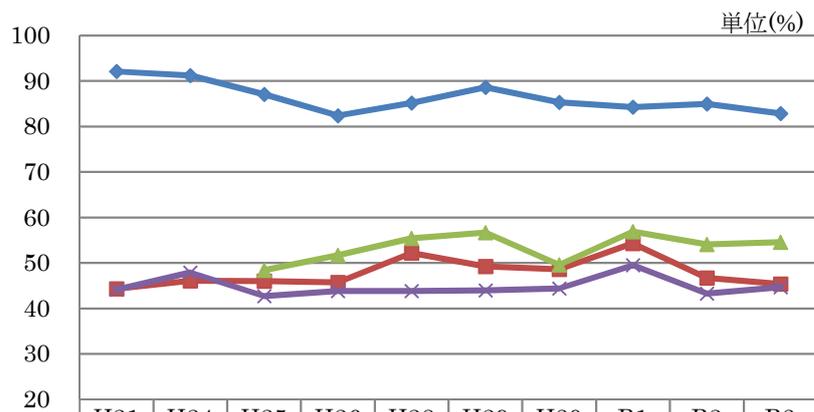
⑤水産物（その1）



⑥水産物（その2）



⑦農産加工品

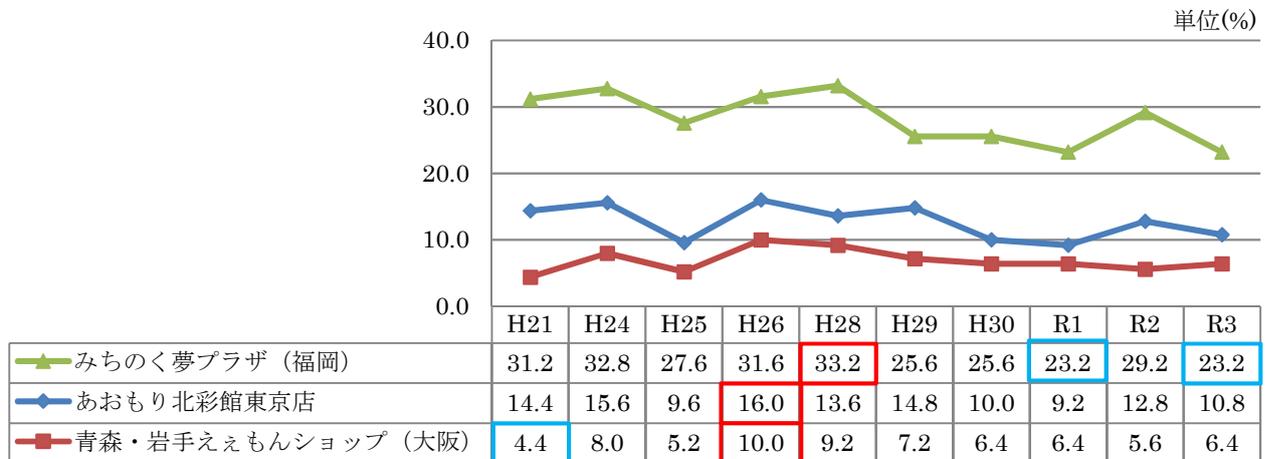


	H21	H24	H25	H26	H28	H29	H30	R1	R2	R3
◆りんごジュース等りんご加工品	92.1	91.2	87.1	82.4	85.2	88.6	85.3	84.3	85.0	82.9
■果物加工品（りんご以外）	44.3	46.1	46.0	45.7	52.2	49.2	48.6	54.3	46.7	45.4
▲にんにく加工品（黒にんにく）			48.4	51.7	55.4	56.7	49.6	56.9	54.1	54.6
✕にんにく加工品（黒にんにく以外）	44.1	47.9	42.7	43.8	43.8	44.0	44.4	49.5	43.3	44.7

注) H21、H24はにんにく加工品（黒にんにく）未調査。

ウ 青森県アンテナショップの認知度

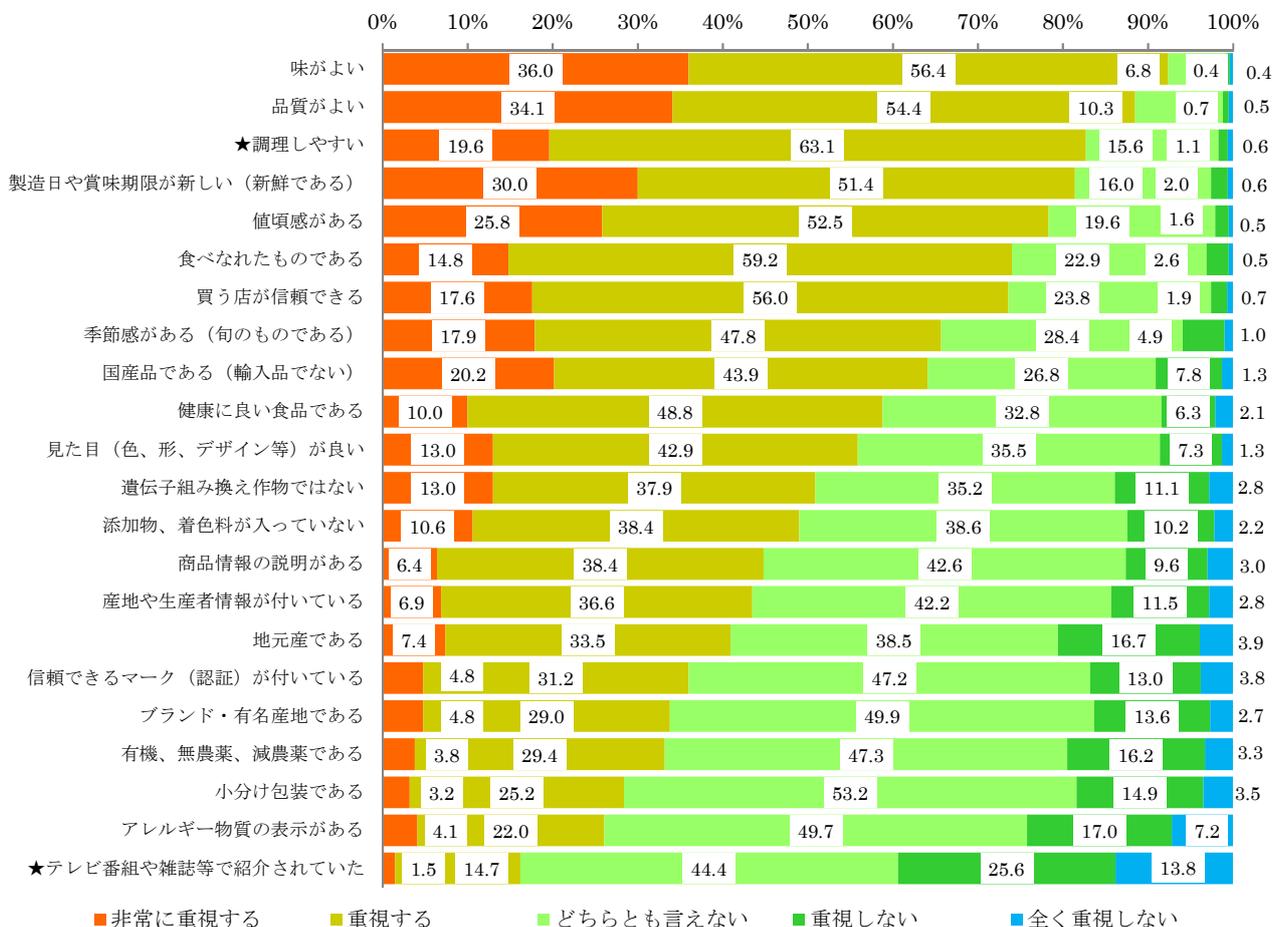
九州地域における「みちのく夢プラザ」（福岡）の認知度が最も高く、23.2%となっている。次いで、関東地域における「あおり北彩館東京店」（東京）の認知度が10.8%、関西地域における「青森・岩手ええもんショップ」（大阪）の認知度が6.4%となっている。



注) 大阪は、H26以前は「きた東北発見プラザ jengo」。H21以降、各店舗の最大値は赤枠で、最小値は青枠で表示。

エ 買い物をする際の重視点（複数回答）

「味がよい」が特に重視され、「品質がよい」、「調理しやすい」、「製造日や賞味期限が新しい（新鮮である）」は8割以上、「値頃感がある」、「食べなれたものである」、「買う店が信頼できる」は7割以上の消費者が重視している。

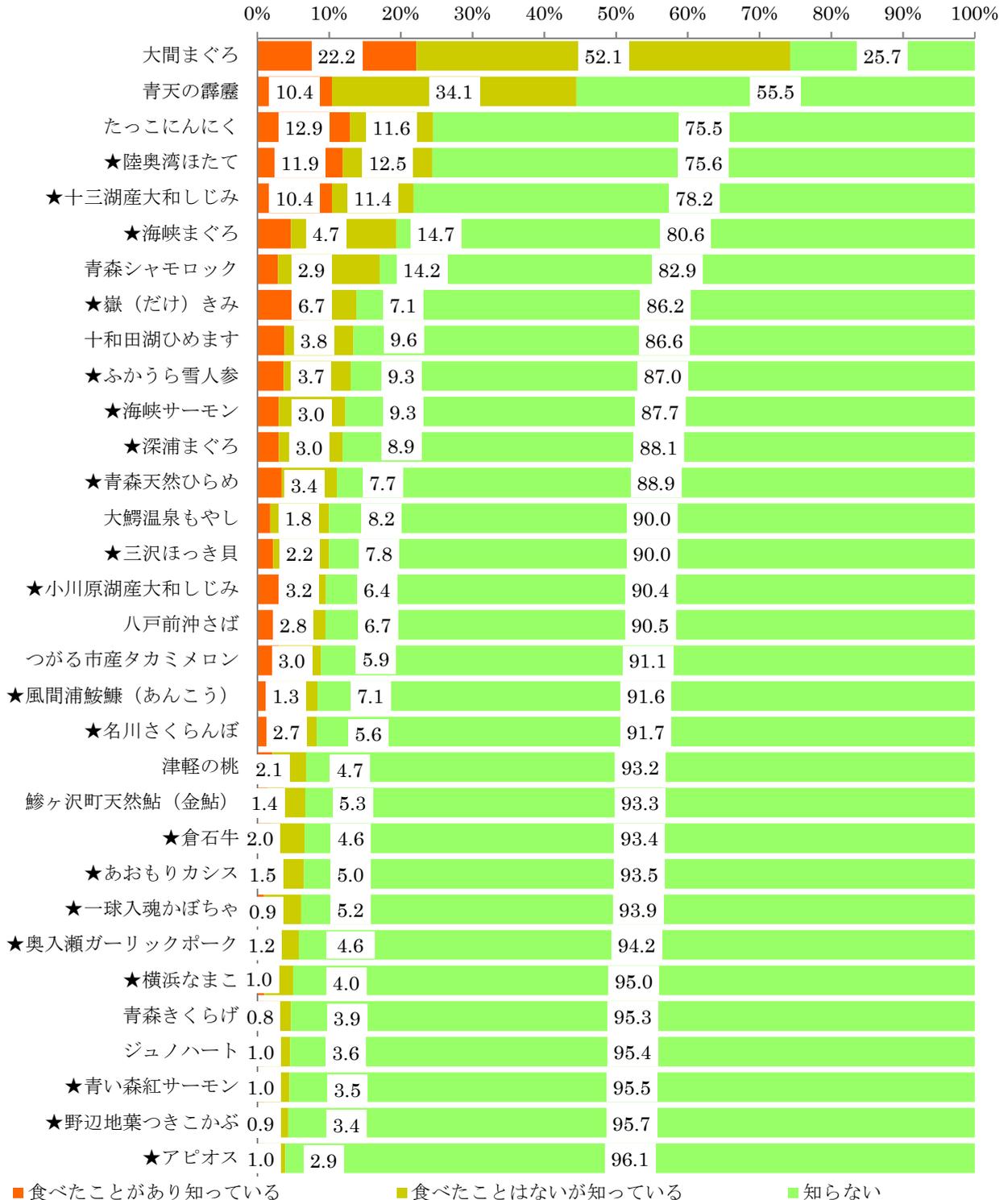


注) ★印が付いている項目は前年度から上昇した項目

(2) 地域食材に関する調査

ア 地域食材の認知度

「食べたことがあり知っている」と「食べたことはないが知っている」の合計値を認知度とした。「大間まぐろ」が74.3%と最も高く、次いで「青天の霹靂」(44.5%)、「たっこにんにく」(24.5%)、「陸奥湾ほたて」(24.4%)、「十三湖産大和しじみ」(21.8%)の順となっている。昨年度と比較し、認知度が上昇している品目は、「倉石牛」、「深浦まぐろ」など20品目である。

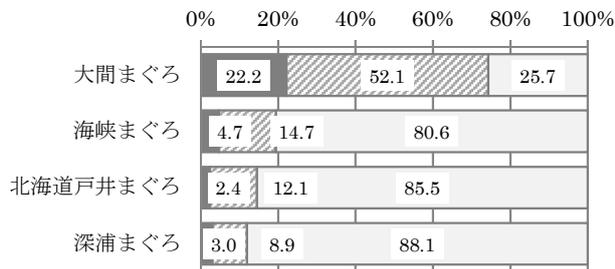


注) ★印が付いている品目は前年度から上昇した品目

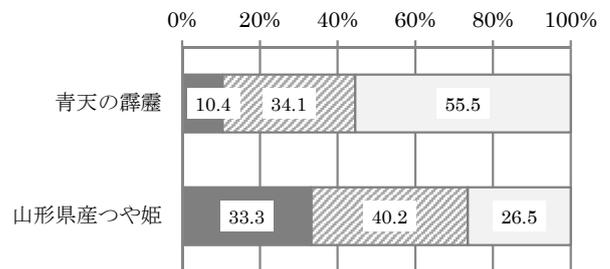
＜参考＞国内のブランド食材と青森県の地域食材との比較

※凡例：  食べたことがあり知っている  食べたことはないが知っている  知らない

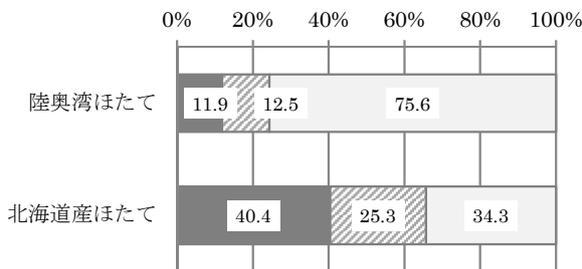
①大間まぐろ・海峡まぐろ・深浦まぐろ



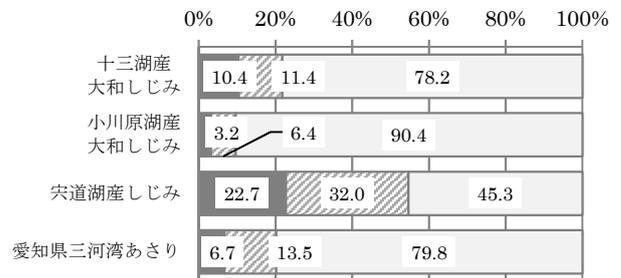
②青天の霹靂



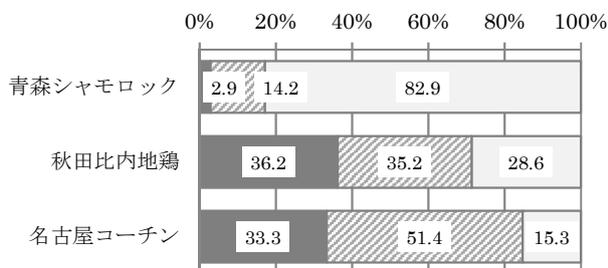
③陸奥湾ほたて



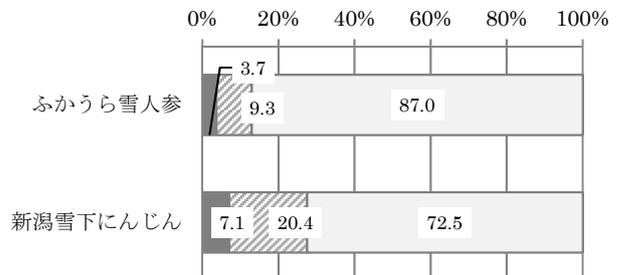
④十三湖産大和しじみ・小川原湖産大和しじみ



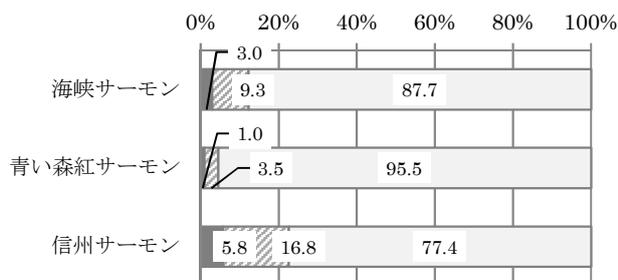
⑤青森シャモロック



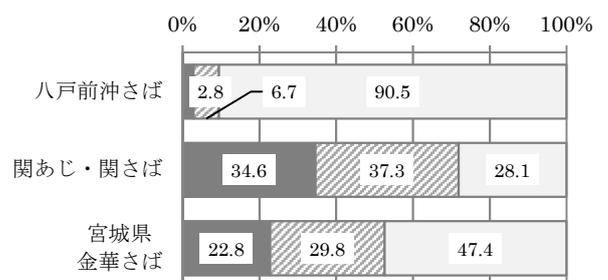
⑥ふかうら雪人参



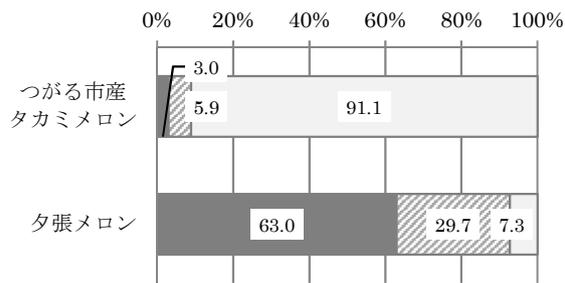
⑦海峡サーモン・青い森紅サーモン



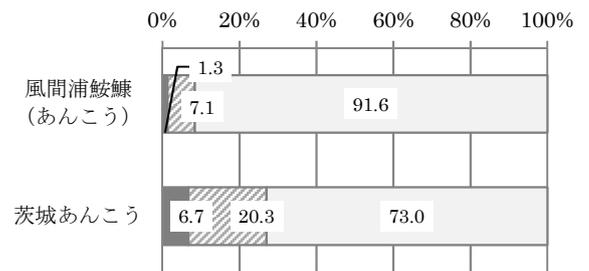
⑧八戸前沖さば



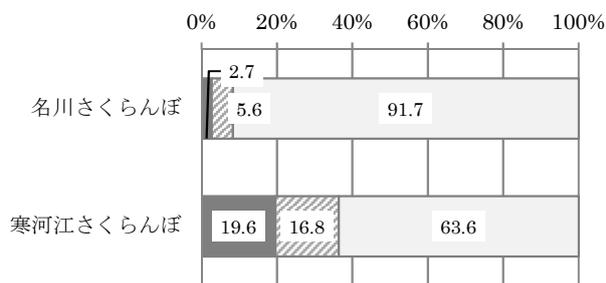
⑨つがる市産タカミメロン



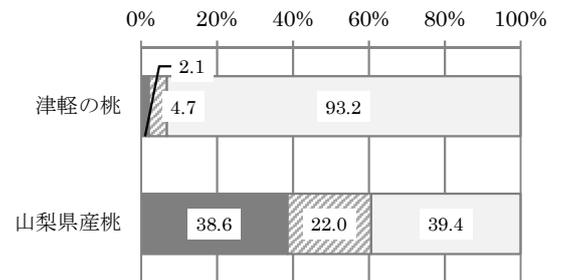
⑩風間浦鮫鯨



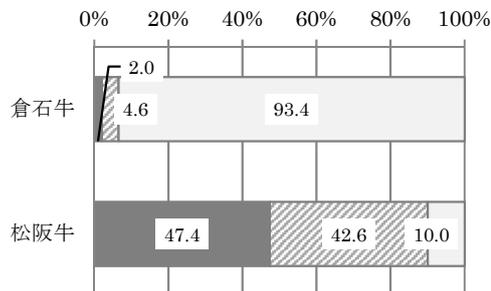
⑪名川さくらんぼ



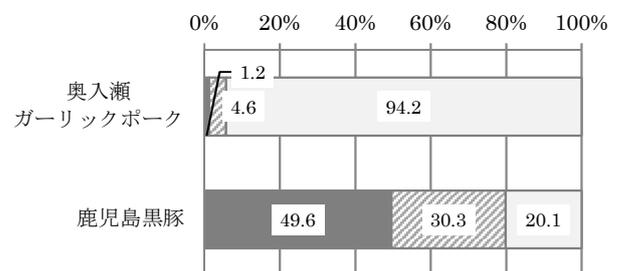
⑫津軽の桃



⑬倉石牛

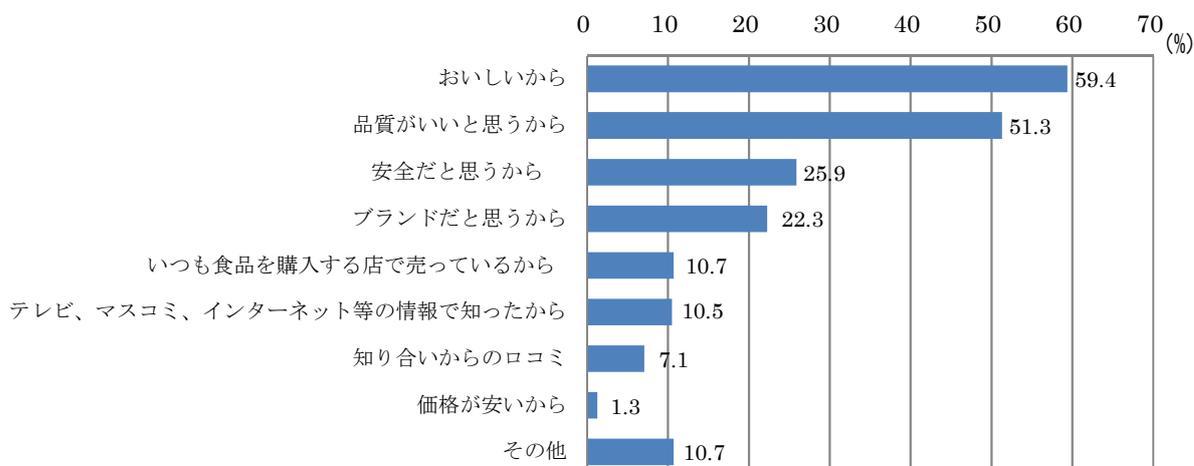


⑭奥入瀬ガーリックポーク



イ 地域食材の購入動機（複数回答）

「おいしいから」が59.4%と最も高く、次いで「品質がいいと思うから」（51.3%）、「安全だと思うから」（25.9%）の順となっている。



ウ 購入してみたい地域食材（複数回答）

「大間まぐろ」が47.1%と最も高く、次いで「青天の霹靂」（35.0%）、「陸奥湾ほたて」（30.9%）の順となっている。

